

各位

会社名 日立建機株式会社
代表者名 執行役社長兼 CEO 平野 耕太郎
(コード: 6305 東証プライム市場)
問い合わせ先 広報・IR部長 井戸 治子
(TEL 03-5826-8152)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年7月28日に公表した、2023年3月期通期連結累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

2023年3月期通期連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	調整後 営業利益	営業利益	税引前 当期利益	親会社株主に 帰属する 当期利益	基本的1株 当たり親会社 株主に帰属する 当期利益
前回予想(A)	百万円 1,040,000	百万円 94,000	百万円 90,000	百万円 90,000	百万円 57,000	円 銭 268.05
今回予想(B)	1,160,000	110,000	106,000	106,000	67,000	315.07
増減額(B)-(A)	120,000	16,000	16,000	16,000	10,000	—
増減率	11.5%	17.0%	17.8%	17.8%	17.5%	—
(ご参考) 2022年3月期	1,024,961	93,518	106,590	110,869	75,826	356.57

<修正の理由>

第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の実績は、コンストラクション・マイニングの新車販売に加えて、部品サービスを中心としたバリューチェーン事業も前年同期比で好調に推移し、為替の円安影響等も加わって、7月時点の計画を大きく上回りました。特に第1四半期において発生した調達・物流の遅れによる事業影響は、第2四半期では大きく改善しました。

2023年3月期通期連結業績見通しは、上期に加えて下期も油圧ショベル需要は前年同期比で減少が続くと見ており、調達・物流リスクは潜在的に続くものと想定していますが、上期の好調な実績を踏まえ、部品サービスを中心としたバリューチェーン事業が今後も伸長すること等を織り込み、上記の通り上方修正いたします。なお、第3四半期以降の前提為替レートにつきましては、7月時点の公表値(米ドル130円、ユーロ140円、人民元19.5円、豪ドル90円)を据え置いています。

以上